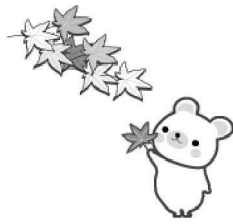


# 北図書館だより 11月号 ほうれんそう

<https://www.amagasaki-library.jp/>

《新・尼崎の本棚 81》



令和2年(2020)第437号

尼崎市立北図書館  
尼崎市南武庫之荘3-21-21  
TEL (06) 6438-7322  
FAX (06) 6438-7344

## 猪名寺廃寺跡

猪名寺廃寺は藻川土手から西方に位置する、国の史跡に指定された寺院跡です。

猪名寺は出土品から7世紀後半の白鳳時代に創建されたことが分かっています。法隆寺式伽藍配置で三重塔と金堂が東西に並び、法隆寺と同等の大きさのある寺院でした。建立者ははっきりとわかっていませんが、地方寺院としては第一級の規模であり、かなりの勢力を有していた豪族ではないかと推察されます。「尼崎市猪名寺廃寺跡」(尼崎市文化財調査報告書 第16集 昭和59年)によると、宣化天皇の子孫で中央の中級官人の地位であった猪名真人が中心となり、地域の重なった同族と協力し建立したのではないかと考えられています。その後、尼崎地方が交通の要所であったことから様々な戦に巻き込まれ、修繕しながら持ちこたえますが、天正6年(1577)荒木村重と織田信長の戦乱により寺院が消失し、廃寺になったと推定されます。

現在、猪名寺のあった場所は、佐璞丘公園となっており、残された塔の礎石である塔心石などから当時の様子を窺い知ることが出来ます。この礎石には白鳳時代の特徴である仏舍利を収めていた舍利孔も見ることが可能です。

(参考:「尼崎市猪名寺廃寺跡」尼崎市教育委員会/発行)

『図説尼崎の歴史 上巻』尼崎市立地域研究史料館/編 尼崎市)

## ◆五重塔は何のため?

法隆寺で有名な五重塔の起源はインドで生まれた仏塔です。インドではブッタの入滅後、その遺骨を細かく砕いて分け石の仏塔を各地に建てて信仰の対象としていました。この塔を「ストゥーパ」と言い漢字では「卒塔婆」と書きます。やがて宝玉類を遺骨の代わりとして納めるようになり、これを仏舍利と呼ぶようになりました。中国、朝鮮で石の塔だったものが木造に変わり日本にも伝えられ、その後独自の発展を遂げました。つまり五重塔はお釈迦様のお墓の代わりのようなものと考えたらいいかもしれません。

五重塔は地震に強いと言われ、現代に至るまで地震で倒れた例は、ほぼないようです。塔身と心柱が柔らかく造られており、風が吹いても小刻みに制振しています。そのため地震の振動に強く倒れにくいようです。東京スカイツリーも地震対策から五重塔の構造を元に「心柱制振」が採用されツリーの中心に鉄筋コンクリートの円筒が埋め込まれています。

(参考:『五重塔入門』藤森照信/著 新潮社)

## ●「五重塔」についてならこんな本●

『五重塔はなぜ倒れないか』上田篤/著 新潮社 112083159

『世界の高層建築まるわかり事典』PHP研究所 221490525

『五重塔』NHK「美の壺」制作班/編 日本放送出版協会 211848376

<図書館の休館日> 印の日はお休みです

11月

日	月	火	水	木	金	土
①	2	③	4	5	6	7
⑧	9	10	11	12	13	14
⑮	16	17	18	19	20	21
⑳	㉓	24	25	26	27	28
㉑	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
⑥	7	8	9	10	11	12
⑬	14	15	16	17	18	19
⑳	21	22	23	24	25	26
㉗	28	29	30	31		



11月:霜月(しもつき)

食べ物:フグ、リンゴ、ジャガイモ、ブリ、ミカン、ダイコン、ギンナン

植物:アザミ、アザレア、マリーゴールド、キンセンカ、イヌタデ

季語:落ち葉、山茶花、こがらし、紅葉、枇杷の花、初冬、冬構え

開館時間 午前9時~午後8時(日曜・休日(○)は、午後5時15分まで)

# チャリティ・リサイクルブックフェア

皆様よりご寄贈いただいた本や図書館で役目を終えた本をリサイクル本として提供します。入場には整理券が必要です。また、イベント前日まで本の寄贈を受け付けています。1階カウンターまでお持ちください。

※百科事典・全集・傷みのひどいものはご遠慮ください。

【日 時】11月14日(土) 13時～15時 20分毎の入替制  
【場 所】北図書館 3階集会室

★整理券の配布について★

【日 時】11月7日(土) 13時30分～ 先着40組  
※配布時には貸出券をお持ちください。



## 図書館の裏側 のぞき見ツアー



【日 時】11月3日(火・祝)

① 10:00～10:45

② 11:00～11:45

【場 所】1階 児童室前

【対 象】小学生とその保護者

【申 込】10月15日(木)～先着8組  
1階カウンター、電話にて受付



## 兵庫県立 ピッコロ劇団員による おはなし会

【日 時】11月8日(日)  
15時～15時45分

【場 所】3階 集会室

【対 象】どなたでも

【定 員】当日先着50名程度

劇団員による迫力満点のおはなし会を  
ぜひお楽しみください。

入場無料、申込はいりません。  
みんなできてね♪

### <11月展示のご案内>

一般大展示 「冬をたのしくあったかく」

2階展示 「愉<sup>タノ</sup>シイ文豪」



## 障がい者と高齢者向けの朗読会

【日時】 11月18日(水) 午後2時から1時間ほど  
【場所】 3階 集会室  
【内容】 『小説 日本婦道記』より  
「糸車」 山本 周五郎／著

朗読はボランティア「ま・どんな」のみなさんです。

### 人を読む 岸本葉子

1961年鎌倉市生まれ。東京大学教養学部卒業。エッセイスト。著書に『カートに入れる?』『カフェ、はじめます』『ためない心の整理術』『ひとり上手』『俳句、はじめました』『週末介護』など多数。

#### 『空き家再生ツアー』

岸本 葉子[著]／講談社

“私を変えたいのは、住まいじゃない、暮らしたんだ”52歳のバツイチシングル・室篤子が参加した移住ツアー。職場では、早期退職を促され、交際相手には不信感を持ち始めている彼女が、ツアーで見いだしたものは……。女性たちが人生を見つめなおし、模索する様子を描いた小説集。

#### 『ほどのよい快適生活術』

岸本 葉子[著]／河出書房新社

贅沢も便利も「ほどほど」がちょうどいい……。そんな暮らしがあった時代、昭和に探す「ほどのよい」暮らし。昭和生まれの著者が、“食べる・着る・住む”日々の生活の工夫について、快適で上手な暮らし方を綴るエッセイ。ウェブマガジン連載を一部加筆修正して単行本化。

#### 『江戸の人になってみる』

岸本 葉子[著]／晶文社

『武玉川』の句集から江戸時代に興味をひかれた著者が『絵本江戸風俗往来』を片手に東京に残る江戸の風情を探し、「お江戸の一年」の行事などを紹介する散歩エッセイ。朝起きてから寝るまでを長屋の住人になったつもりで過ごせる「お江戸の一日」もあり、著者と共に江戸の気分が味わえる一冊。

#### 『本はいつでも友だちだった』

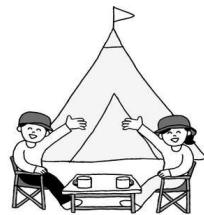
岸本 葉子[著]／ポプラ社

小学校の同級生「アラカワさん」は、生活のほとんどを読書に費やしていた。自分はそのまでの「本好き」にはなれないが、気が付けば手に取れる距離には本を置いておきたい。そんな著者が子どもの頃に読んだ本や、読みそびれた本、読書についての思いなどを綴る。

【小学5～6年生】

本名は下田昌子。卒業後は東邦生命に勤務したが、1986年に退社し中国へ留学。帰国後はエッセイ・小説など執筆生活を続ける。2001年には虫垂癌と診断され、2003年にはその手術・治療の体験を綴った『がんから始まる』を出版。その後も積極的に作品を執筆し、近年は俳句に関する著書も多い。ガン克服キャンペーンにも参加している。

# 児 童 室 11 月



## おはなし会



土曜日

おひざのうえのおはなし 午後2:00~  
 小さい人(ようちえん) 午後2:15~

場所: 3階集会室

11/7(土)

●おひざのうえ  
 「ぐるぐるジュース」  
 「もりのおふろ」

●小さい人  
 「ゴリラのパンやさん」  
 「ふしぎなたいこ」

11/21(土)

●おひざのうえ  
 「おいもさんがね…」  
 「ならんだならんだ」

●小さい人  
 「なわとびしましょ」  
 「おおかみと七ひきの子やぎ」



水曜日

あかちゃんひろば

(第1・第3水曜日)

場所: 1階絵本コーナー

11/4(水)、11/18(水)  
 午前11:00~11:20

0歳~2歳くらいのお子さんと  
 保護者向け

赤ちゃん絵本、わらべうた、手遊び



日曜日

(第2・第4日曜日)

場所: 1階ロビー

11/8(日)、11/22(日)  
 午前11:00~11:20

2歳くらいから

季節の絵本や紙芝居など

11

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4 	5	6	7 
8 	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18 	19	20	21 
22 	23	24	25	26	27	28
29	30					

今月の展示

『あきのえほん』